

アトピー性皮膚炎の鍼灸治療

アトピー性皮膚炎は、過敏症で、乳幼児期に始まり、症状を繰り返しながら、長期間続きます。痒みのある湿疹の一つです。アトピー性皮膚炎の原因は、詳細はわかっていません。アトピーは、乳幼児期に始まったアトピーが、成人期まで続くこともあり、成人になってから始まる人もいます。

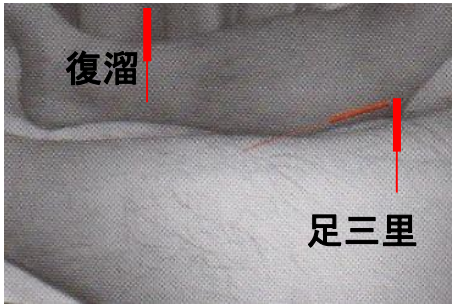
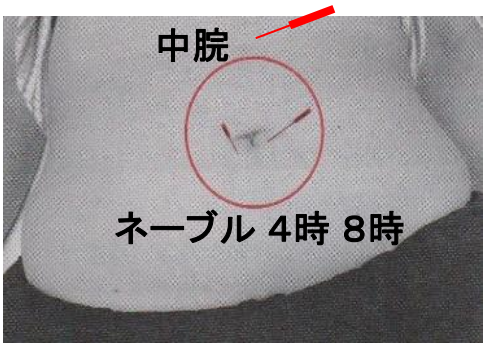
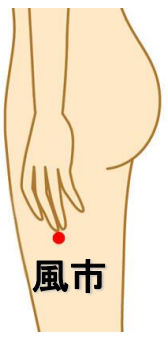
■アトピー性皮膚炎の治療方針

自律神経(交感神経と副交感神経)のバランスを整え、白血球内に含まれる免疫ガンマグロブリン(IgM、IgA、IgEなど)の値を正常に戻す

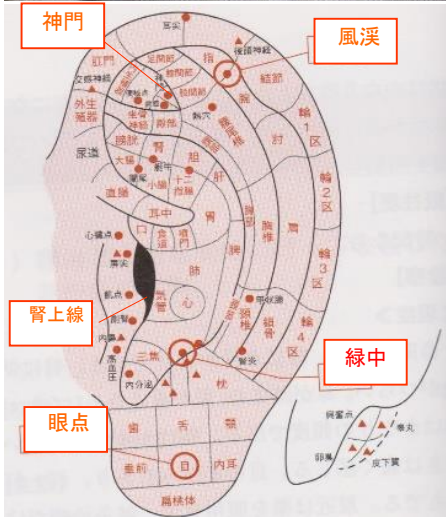
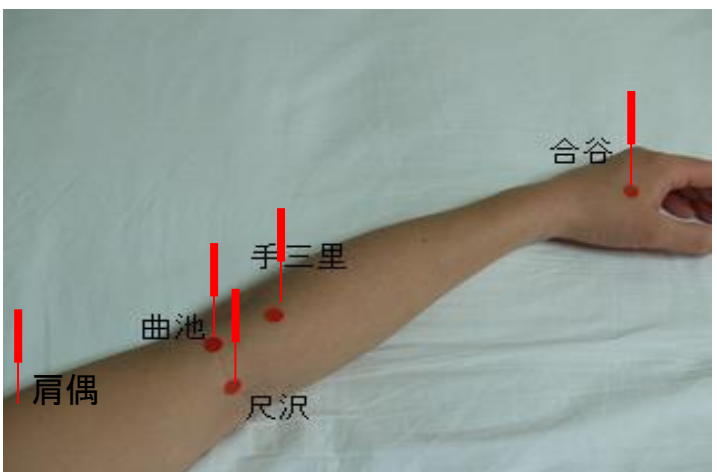
■アトピー性皮膚炎の鍼灸治療

症状	はり	きゅう	耳つぼ
皮膚症状	曲池 (大腸経:瀉法)、 合谷 (肺経の合水)、 肩髃 (大腸経)、 風市 、 血海 (脾経)、 足三里 (胃経)、太谿、 中腕 (任脈)、天枢	三陰交(脾経)	風溪
免疫機能強化 抗アレルギー	復溜 (補法)、 兪府 (腎経)	腎兪(背兪) 復溜(腎経)	風溪
副腎処置 抗炎症	ネーブル (臍の周り4時、8時)、 照海 (腎経)、 兪府 (腎経)、 曲池-手三里 (陽明大腸経:長野式免疫処理)	照海(腎経) 兪府(腎経)	風溪 内分泌
集中力低下 イライラ	曲沢~内関(心包経:瀉法) 太衝(肝経 兪穴 原穴)	膻中(任脈 気会) 中腕(任脈 腑会)	神門
ぜんそく悪化	尺沢 (肺経:瀉法)+陰陵泉(脾経:補法)	大椎、喘息点(手)	腎上線

井穴刺絡	H5:薬指 関衝(三焦経) F5:薬趾 足竅陰(胆経)	アレルギー疾患
------	-----------------------------	---------



【パルス】
 風市-復溜
 風市-血海
 風市-足三里
 曲池-手三里
 尺沢-合谷
 肩髃-合谷



3Hz-30Hz Mix